



# 2021 年生まれ

# 大集合

今年<sup>うしとし</sup>は丑年。今回の特集では滝川市の丑年の皆さんを新年の抱負と共にご紹介します。

## 滝

川市の2020

振り返り

【1月】

・「羊神ジンギリバー」が  
一日警察署長に任命



【2月】

・降雪量観測史上最少を記録  
(67cm、平年比62%)



【3月】

・モンゴル国ウブスハンガイ県  
へ消防車寄贈

【4月】

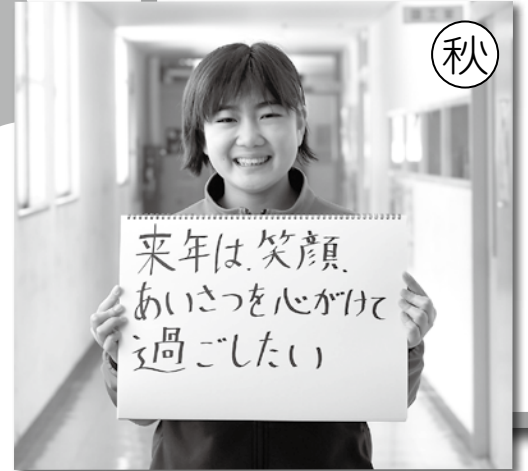
・道の駅たきかわリニューアル  
・滝川キャンプサイト  
「おんぼろふし」オープン



秋

田谷 香歩さん

2009年(平成二十一年)生まれ



来年は笑顔  
あいさつを心がけて  
過ごしたい

砂

原康二・萌永さん

1997年(平成九年)生まれ



幸せな  
1年に!

2人で  
モ〜と

こ

の人が生まれた年の  
滝川市では...

【ファミリーサポートセンター開所】

ほかにも:

・シイビーツアーズ滝川  
営業所オープン



【滝川消防公設 100 年】

ほかにも:

・滝川ふれ愛の里オープン  
・栃木市との  
友好親善都市盟約15周年



【第1回滝川しぶき祭開催】

ほかにも:

・身体障害者福祉センターお  
よび地域ふれあいセンター  
オープン



【高林デパートオープン】

ほかにも:

・文化センターおよび旧市立  
図書館オープン



▲1979年の様子



男の子2人と、女の子1人のお子さんを持つ上田さんが、特に大切にしているのは家族とのおうち時間です。「夏は農作業で朝から晩まで外に出ているので、冬は子どもとの時間を大切にしています。」と優しいお父さんとしての一面も。

横浜市の民間企業に就職後、実家の農業を継承するため、地元である江部乙町にUターンした上田智雄さん。自分たちが作るお米を直接消費者の方々へ届けたいという思いから、2009年に若手農業者グループ『大地の匠』を設立しました。お米以外にも大豆やトマトなど多様な作物を栽培し、日々の食卓を支えています。繁忙期は全神経を農業へ集中させたいと考えており、全回復の「全」には、全ての農家が豊作になりますようにという願いが込められているそうです。



現在は主に郵送のバックアップなど、職員のサポートをしている山内さん。「さまざまな部署の職員が円滑に仕事を進められるよう、日頃から意識しています。後輩職員も多くなってきたので、周りから頼られる存在になりたいですね。」

山内晃司さんは札幌の大学を卒業後、「民営化一期生」として日本郵便に入社し、滝川郵便局に配属されました。入社当初は配達員として、地元である市内を駆け巡っていたそうです。「慣れ親しんだ市内ではありましたが、バイクでの移動は慣れていたなかったので苦労しました。」と新人時代を振り返る姿も。年末年始について、「忙しい日が続きますが、同時に社内での活気があふれる時期でもあるので、とてもやりがいを感じています。」と明るく話してくれました。